

いわての

岩手県立博物館 第64回企画展

光る生きものたち

～大震災からの復興の光～

平成25年

宮古市巡回展

8月28日(水)～9月2日(月)

開館時間 9:00～16:30(入館は16:00まで)

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始12月28日～1月4日

岩手県立水産科学館「ウオリヤス」

〒027-0001 岩手県宮古市日立浜町32-28 Tel. 0193-63-5353 Fax. 0193-64-4855
<http://www.uolog.npo-iwate.jp/uoriyas/>

入館料/一般300(140)円、学生140(70)円

※()は20名様以上の団体料金。※高校生以下の入場料は無料です。



平成25年

久慈市巡回展

9月7日(土)～8日(日)

開館時間 9:00～18:00(4月～10月)

※11月～3月は10:00～17:00。最終入館は閉館時間の30分前まで

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、12月31日、1月1日

※夏季臨時開館の場合あり。お問い合わせ下さい。

もぐらんぴあまちなか水族館

〒028-0061 岩手県久慈市中央二丁目9 Tel. 0194-53-9600 Fax. 0194-53-9608
<http://www.citykuji-kougyou.com/moguranpia/>

入館料/無料 ※ただし、体験コーナーの一部は有料。

©撮影/佐藤嘉宏



©撮影/萩原清司



【主催】岩手県立博物館・公益財団法人岩手県文化振興事業団

あなたは、光るバクテリアや 光るミミズがいることを知っていますか？

バクテリアが発光という仕組みを獲得したのは約20億年前。

それから長い年月をかけて、生物は光をコミュニケーションに利用するまでに進化してきました。

この展覧会では、ホタルや深海魚、クラゲやキノコなど、

たくさんの光る生きものの美しさに触れながら、発光生物の進化のみちすじを紹介します。

また、ホタルやウミホタルなどの光る生きものを取り巻く環境の変化や人間との関係についても考えます。



提供/北海道大学
総合博物館分館水産科学館

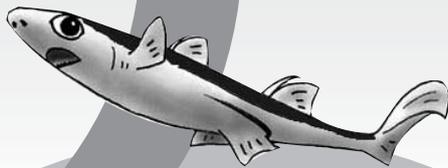


光る生きものの標本や
模型がたくさん！

世界のホタル・日本のホタル、深海魚など約400点

光る生きものたちを
生きたまま展示！

ヒカリキンメダイ、マツカサウオ、
発光バクテリアほか



光る生きものたちの
美しい映像！

日本全国のホタル写真、発光する
チョウチンアンコウやミノエビの動画など



提供/横須賀市自然・
人文博物館



「銀河鉄道の夜」にも
登場したホタルイカ

提供/稲村 修
(魚津水族館)

「宮沢賢治と
光る生きもの」
コーナーもあるよ！



◆展示協力：弘前大学、東京大学大気海洋研究所、農業生物資源研究所、基礎生物学研究所NBRP Medaka、大場堂研究所、
横須賀市立自然・人文博物館、兵庫県立人と自然の博物館、伊丹市昆虫館、陸前高田市立博物館、
北海道大学総合博物館分館水産科学館、魚津水族館、アクアマリンふくしま、沖縄美ら海水族館、新江ノ島水族館、
アクアワールド茨城県大洗水族館、名古屋市科学館、宮沢賢治学会イーハトーブセンター、小岩井農牧、
盛岡ペットワールド専門学校、ヒメボタルサミット協議会、名古屋城外堀ヒメボタルを受け継ぐ者たち、
滝沢村ホタル探検隊、NPO法人八丈島観光リクリエーション研究会ほか



岩手県立博物館